

# 彩龍の川だより

国土交通省関東地方整備局  
江戸川河川事務所  
首都圏外郭放水路管理支所  
住所：春日部市上金崎720  
電話：048-746-7524  
2014年2月10日 [第38号]

## トンネル内にたまる土砂★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

首都圏外郭放水路では2、3年に1度トンネル内にたまった土砂の撤去を行っています。現在、撤去の工事をしているので、工事の様子をご紹介します。

大雨が降ると川の水位が上がり、濁水(土砂の混じった水)となって流れます。外郭放水路は洪水時の濁水をトンネル内に取り込み、地下のトンネルを通して江戸川へ排水しています。洪水時に流入した土砂はトンネル内に堆積しますので、定期的に取り除いています。土砂の量は洪水の回数や水量によって変わります。今年度は約5千m<sup>3</sup>の土砂を約半年かけて撤去しており、第2、第4立坑の2箇所から地上に運び出します。撤去した土砂は水分を多く含んでいるので、1年間ほど地上で乾燥させて、堤防の材料として利用しています。



機械の搬入



トンネル内の土砂撤去



土砂の入った容器(ベッセル)

トンネルから土揚げ



運搬車に積み込み

## 外郭放水路とは？★★★★★★

首都圏外郭放水路は、春日部市など埼玉県東部の低平な地域を洪水から守るため、国道16号の地下約50mに建設された延長約6.3kmの放水路です。平成18年に稼働開始(平成14年から一部区間稼働)して以降、毎年7回程度の洪水を地下の施設に流入させて江戸川に排水することにより、地域の浸水被害の軽減に努めています。テレビでもたびたび紹介されている施設ですが、施設への流入がない時には、巨大な地下施設の見学ができます。



